

## IBM Social Media Insight for Retail

ご利用条件 (以下「ToU」といいます。) は、本「IBM ご利用条件 – SaaS 特定オファリング条件」 (以下「SaaS 特定オファリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 – 一般条件」 (以下「一般条件」といいます。) で構成されています (URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オファリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合、「SaaS 特定オファリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」には、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスペリエンスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オファリングのご契約条件」のうち該当する契約条件 (以下「本契約」といいます。) が適用され、これらと「ToU」を合わせて完全な合意として成立します。

### 1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オファリングに、これらの「SaaS 特定オファリング条件」が適用されます。

- IBM Social Media Insight for Retail
- IBM Social Media Insight for Retail-Other Online Data
- IBM Social Media Insight for Retail-Twitter Data

### 2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」で規定された以下の課金単位のいずれかに従って販売されます。

- 「許可ユーザー」**は、「プログラム」を取得する際の課金単位です。「許可ユーザー」とは、「プログラム」へのアクセスが認められた特定の個人を意味します。「プログラム」は、数量を問わずコンピューターまたはサーバーにインストールすることが認められ、各「許可ユーザー」は、「プログラム」のインスタンスに数量を問わず同時にアクセスすることができます。ライセンシーは、直接または間接を問わず何らかの方法により (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを経由して)「プログラム」へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」ごとに、個別に専用の使用許諾を取得しなければならないものとします。ある「許可ユーザー」のための使用許諾は、その「許可ユーザー」に固有のものであり、共有することはできず、かつ、「許可ユーザー」の使用許諾を別の人に永続的に移転する場合を除き、再度割り当てることはできません。
- 「エンゲージメント」**は、サービスを取得する際の課金単位です。「エンゲージメント」は、「IBM SaaS」に関連するプロフェッショナル・サービス、研修サービスまたはその両方のサービスで構成されます。それぞれの「エンゲージメント」をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。
- 「文書」**は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「文書」とは、その先頭と末尾を示す文書のヘッダー・レコードとトレーラー・レコードで囲まれた有限量のデータ、または「IBM SaaS」に定義されているタイプの物理的もしくは電子的な文書 (請求書、受注書、発注書、見積書、日程表、計画書、申告書、出荷通知書、受領証、金融証書を含みますが、これらに限定されません。) です。各「Thousand 文書」使用許諾は、1つの「Thousand 文書」を対象とします。お客様は、お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定められた課金期間中に「IBM SaaS」により処理される「文書」の総数をカバーするのに十分な「Thousand 文書」使用許諾を取得する必要があります。文書の使用許諾は、250,000 単位で販売されます。

### 3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

#### 3.1 セットアップ

セットアップ料金は、「取引文書」に明記されます。

#### 3.2 1か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された1か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

### 4. 期間および更新オプション

「IBM SaaS」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「IBM SaaS」へのお客様のアクセスについて、IBMがお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「IBM SaaS」が自動的に更新されるか、継続使用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも90日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「IBM SaaS」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続使用の場合は、「IBM SaaS」は、お客様が90日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「IBM SaaS」は、かかる90日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

### 5. テクニカル・サポート

「サブスクリプション期間」中に「IBM SaaS」に対して提供されるテクニカル・サポートは、<http://www.ibm.com/software/support/handbook.html>に掲載されている「SaaS サポート・ハンドブック」またはIBMが提供する後継のURLに定めます。「テクニカル・サポート」は「IBM SaaS」に含まれ、個別のオフリングとして提供されるものではありません。

### 6. 「IBM SaaS」オフリングの追加条件

#### 6.1 Cookie

お客様は、IBMが「IBM SaaS」の通常の運用およびサポートの一環として、トラッキングおよびその他の技術により、「IBM SaaS」の利用に関連してお客様(お客様の従業員および従契約者)から個人情報を収集することがあることを認識し、これに同意するものとします。IBMによるこのような情報収集は、ユーザー・エクスペリエンスの向上またはお客様との対話の調整を目的とし、「IBM SaaS」の有効性について使用統計および情報を収集するために行うものです。お客様は、IBM、その他のIBMグループ会社およびその従契約者が、営業活動を行う地域において、適用法に従い、IBM、その他のIBMグループ会社およびそれぞれの従契約者の範囲内で、収集した個人情報を以上の目的のために処理することができるよう、お客様が同意を取得すること、または取得済みであることを確認するものとします。IBMは、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従うものとします。

#### 6.2 Derived Benefit Locations

該当する場合、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する場所の税金が適用されます。IBMは、お客様がIBMに追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要なBenefit Locationとして記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新状態に保ち、変更があった場合にはIBMに通知する責任を負うものとします。

#### 6.3 使用制限 – 文書

- すべての「文書」の使用許諾は、購入日から1年以内に使用するものとします。
- お客様は、購入し「IBM SaaS」の終了までに使用しなかった「文書」の払い戻しを受ける権利を有しません。

#### 6.4 著作権侵害

IBMはそのポリシーにより、他者の知的財産権を尊重します。著作権の保護対象に対する侵害を報告するには、<http://www.ibm.com/legal/us/en/dmca.html>にある「Digital Millennium Copyright Act Notices (デジタル・ミレニアム著作権法に関する注意)」を参照してください。

## 6.5 禁止事項

以下の用途での使用は、Red Hat により禁止されています。

高リスク使用の禁止: お客様は、「IBM SaaS」の障害が生命の危険、重大な人身傷害もしくは重大な物的損害または環境被害を招く可能性のあるアプリケーションまたは状況 (以下「高リスク使用」といいます。) で、「IBM SaaS」を利用しないものとします。「高リスク使用」には、航空機、またはその他の人の大量輸送手段、核施設、化学施設、生命維持装置、体内埋込型医療機器、自動車、または兵器システムが含まれますが、これらに限定されるものではありません。「高リスク使用」には、その不具合が生命の危険、重大な人身傷害もしくは重大な物的損害または環境被害につながるものがない構成データ、エンジニアリングもしくは構成ツール、またはその他非制御アプリケーションを保管するための管理を目的とした「IBM SaaS」の利用は含まれません。これらの非制御アプリケーションは、制御を実行するアプリケーションと通信することはできますが、制御機能には直接または間接に関与しないものとします。

## 6.6 サンプル資料

IBM SaaS には、サンプル資料と指定するコンポーネントまたはその他の資料が含まれる場合があります。お客様は、サンプル資料の使用が「本契約」の下での許諾権制限の範囲内にある限り、お客様の内部使用を目的としてのみコピーおよび変更することができます。ただし、お客様はサンプル資料に含まれる著作権情報または表示を変更または削除しないものとします。IBM は、サポートの義務を負わずに現状のままの状態ですべてのサンプル資料を提供するものであり、権原の保証、第三者の権利の不侵害の保証、特許権の不侵害の保証、ならびに商品性および特定目的適合性に関する黙示の保証を含む (ただし、これらに限定されません。)、明示または黙示のいかなる保証もしません。

## 6.7 コンテンツの保証および補償に関する免責事項

本契約に規定されている保証にかかわらず、「コンテンツ」はすべての誤りを含む「現状」のまま、かつ、何らの保証も伴わず提供され、お客様は自己責任において「コンテンツ」を利用するものとします。IBM は、その他一切の明示または黙示の保証を行わず、本書によりいかなる責任も負わないものとします。ここでいう保証には、商品性の保証、品質保証、性能保証、特定目的適合性の保証、法律上の瑕疵担保、権原にかかわるあらゆる黙示の保証、および「コンテンツ」の取引上、利用上、もしくは商慣習上の、または「コンテンツ」に関連するあらゆる保証が含まれます。IBM は、「コンテンツ」へのアクセスについて、中断されないことや誤りがないことを保証するものではありません。この保証に関する免責事項は、一部の国の法律では無効な場合があります。お客様には本免責事項により制限されない法律上の権利が保証されます。かかる保証は、(かかる法律によりその他の規定がある場合を除き) 本契約の発効日から 30 日間のみ適用されます。本契約に規定される、IBM のお客様に対する補償責任は、「コンテンツ」のお客様によるアクセスおよび利用に対しては一切適用されません。

## 6.8 補足定義

- a. 「IBM SaaS」 - 「本契約」で定義されるソフトウェア・サービスであり、「コンテンツ」、「第三者アプリケーション」、および「第三者サイト」は含まれません。
- b. 「分析レポート」 - 「コンテンツ」からの情報を分析して派生させるプロセスからの結果または出力をいいます。
- c. 「コンテンツ」 - 情報、ソフトウェア、およびデータのことであり、お客様によって、またはお客様が許可したユーザーによって作成、提供、アップロード、もしくは転送された、あらゆる「個人データ」、ハイパーテキスト・マークアップ言語、ファイル、スクリプト、プログラム、記録、音声、音楽、グラフィックス、イメージ、アプレット、もしくはサーブレットを含みますが、これらに限られません。「コンテンツ」には、全部であるか一部であるかを問わず、第三者サイトから、お客様によってもしくはお客様のために提供される情報もしくはデータ、または IBM もしくは IBM のサプライヤーがお客様に代わってアクセスする情報もしくはデータを含みます。
- d. お客様の「第三者アプリケーション」 - IBM 以外の個人または法人により提供され、「IBM SaaS」と相互運用するアプリケーションおよびソフトウェアのことをいいます。

- e. 「**第三者サイト**」 - 第三者の Web サイト (お客様の Web サイト、および Facebook、Klout、Twitter 等のソーシャル・メディア・コンテンツを提供する Web サイトを含みますが、これらに限定されません。) のことをいいます。
- f. 「**ツイート ID**」 - 各「ツイート」に対して生成された一意の識別番号をいいます。
- g. 「**ツイート**」 - Twitter サービスのエンド・ユーザーが行う、140 文字以内のテキスト本文での公開投稿をいいます。
- h. 「**Twitter コンテンツ**」 - 「ツイート」、「ツイート ID」、公開されている Twitter のエンド・ユーザー・プロフィール情報、ならびにお客様に提供される Twitter 関連のその他のデータおよび情報をいいます。
- i. 「**Twitter マーク**」 - Twitter の名称または IBM がお客様に提供するロゴ。お客様による「Twitter マーク」の使用には、本契約および Twitter Brand Assets and Guidelines (<https://Twitter.com/logo> に掲載) が適用されます。

## 6.9 内部の使用のみに限定

「IBM SaaS」の利用に関する「本契約」の制約に加えて、「IBM SaaS」から取得する報告、結果およびその他の出力は、お客様の内部使用のためにのみ提供されるものです。

## 6.10 「コンテンツ」、「第三者アプリケーション」、および「第三者サイト」へのアクセスおよびその利用

「IBM SaaS」は、お客様が「IBM SaaS」内でのみ利用するために、お客様が「第三者アプリケーション」および「第三者サイト」から「コンテンツ」を選択し、これにアクセスする手段を提供します。「コンテンツ」は、IBM または IBM サプライヤーが所有もしくは管理するものではなく、IBM および IBM サプライヤーは「コンテンツ」におけるいかなる権利も使用許諾せず、また、その他の方法で付与することはありません。「コンテンツ」には、違法な素材、不正確な素材、誤解を招く素材、わいせつな素材、またはその他好ましくない素材が含まれることがあります。IBM または IBM サプライヤーは、「コンテンツ」についてレビュー、フィルタリング、確認、編集または削除を行う義務はありません。ただし、IBM または IBM サプライヤーは、その裁量でこれを行うことができます。

「IBM SaaS」には、「第三者アプリケーション」および「第三者サイト」(例えば Facebook または Twitter アプリケーション) と相互運用するように設計された機能が含まれる場合があります。「コンテンツ」のために「本契約」で求められる許可に加えて、お客様に代わって「IBM SaaS」を運営するために、お客様は IBM に対し、「コンテンツ」、「第三者アプリケーション」および「第三者サイト」に関する必要な権限およびこれらに対するアクセス権を付与するものとします。お客様は、「コンテンツ」、「第三者アプリケーション」および「第三者サイト」にアクセスし、またはこれを使用するために、第三者と別途契約を締結するよう求められる場合があります。IBM はかかる別段の契約の当事者ではなく、またこのことは、本「ToU」の明示的な条件ではありません。お客様はかかる別段の契約の条項に従うことに同意するものとします。

本「IBM SaaS」の一部としてアクセスする「コンテンツ」を使用する場合、お客様は、(a) 「コンテンツ」の分析を実施し、「IBM SaaS」の機能で認められる「分析レポート」を作成すること、および (b) 「IBM SaaS」内でのみ「コンテンツ」を表示することのみが許可されます。

お客様が「Twitter コンテンツ」を表示する場合、お客様は Twitter 表示要件 (<https://dev.Twitter.com/terms/display-requirements> に掲載) に従って「Twitter コンテンツ」を表示する必要があります。

本 SaaS の一部として「Twitter コンテンツ」のアクセスを使用する場合、お客様は本書の規定に従い、「Twitter コンテンツ」のソースとしての属性を Twitter に持たせることのみを目的に、「Twitter マーク」を表示することのみ許可されます。

## 6.11 制限

「本契約」で定められる「IBM SaaS」に関する利用条件に加えて、お客様は以下を行わないものとします。

- a. 適用されるプライバシー法もしくはその他の法律、第三者のライセンスに関する条件、契約条件、もしくはその他の条件や規制に違反する場合において「IBM SaaS」を用いて「第三者サイト」、「第三者アプリケーション」または「コンテンツ」にアクセスし、またはこれらを使用すること（これには、複製、改変または二次的著作物の作成が含まれますが、これらに限定されません。）。
- b. 第三者に対し「IBM SaaS」もしくは「コンテンツ」を配布、実演、展示、またはその他の方法で利用可能にすること。ただし、「コンテンツ」プロバイダーとの契約に基づいて許可される場合はこの限りではありません。
- c. 競合する製品またはサービスを創出するかまたはこれに貢献するために「IBM SaaS」のいずれかの部分にアクセスし、またはこれを利用すること。
- d. 「コンテンツ」に含まれるロケーション・データまたは地理情報を、それが関係する「コンテンツ」と別個に集約したり、キャッシュに入れたり、保存したりすること。または、「ツイート」にタグ付けされているロケーションを特定する以外の理由のために「コンテンツ」に含まれるロケーション・データまたは地理データを利用すること。
- e. 「コンテンツ」とその他のデータを混在させること。ただし、「コンテンツ」がソースに帰属することが明白である場合は除きます。例えば、「ツイート」は、それが Twitter に帰属することが明白な場合を除き、混在させないものとします。
- f. 「IBM SaaS」の一部としてアクセス可能な「コンテンツ」を利用して、違法または差別的な目的のために少人数のグループや個人について分析を実行すること。
- g. 「コンテンツ」を消費者向けに公開表示することを目的として、「コンテンツ」の可視化、フィルター処理またはキュレーションを提供すること。これには、マスマーケット向けメディアおよびエンターテインメント・イベントに対する「コンテンツ」の表示、オンライン・ウィジェットの統合および可視化、テレビ放送、屋外の「電子看板」またはその他の類似の媒体が含まれますが、これらに限りません。
- h. 広告ネットワークの一部として、「IBM SaaS」内で「コンテンツ」を使用すること、またはそこから分析すること。ただし、「コンテンツ」に関連する「第三者サイト」または「第三者アプリケーション」により書面で明示的に許可されている場合は除きます。
- i. アプリケーションを作成するために「IBM SaaS」内で「Twitter コンテンツ」を使用またはそこから分析すること。この場合のアプリケーションとは、テレビ番組のパフォーマンスを経時的に比較するため、またはその他のテレビ番組の所定のセットもしくはサブセットに照らして比較するためのものと同様または類似の方法を用いて行われる、定期的に提示される時間ベースの一連の測定を実行するものをいいます。
- j. 何らかの目的のために「IBM SaaS」の一部として「コンテンツ」にアクセスしてそれを利用する間に取得した、集計されたユーザー測定基準（ユーザー数またはアカウント数など）を使用すること。ただし、「コンテンツ」に関連する「第三者サイト」または「第三者アプリケーション」により書面で明示的に許可されている場合は除きます。
- k. 「本契約」で許可されている限定された目的以外の目的のために「コンテンツ」を利用すること。

## 6.12 第三者訴訟に基づく終了

### 6.12.1 IBM による終了

「本契約」の停止および終了の権利に加えて、プロバイダーが「第三者サイト」、「第三者アプリケーション」もしくは「コンテンツ」の提供を中止するか、IBM および IBM サプライヤー、お客様もしくは第三者に対し重大な負担またはリスクを提示する条件を課す場合、または「IBM SaaS」を用いた特定のコンテンツの処理が第三者の権利（知的財産権を含みます。）を侵害することを IBM が知っているか、または IBM がそう考える理由がある場合、IBM はお客様に返金、クレジットまたはその他の補償を受ける権利を付与することなく、「IBM SaaS」の相当する機能の提供を中止することができます。

お客様は、お客様による「IBM SaaS」の利用に関連して、お客様による「IBM SaaS」の利用に対する請求または要求につながる可能性があることを知り得た事由または状況について、直ちに IBM に通知するものとします。お客様は IBM の要求に応じて、IBM にかかる事由または状況に関するすべての関連情報を提供するものとします。

## 6.12.2 お客様による終了

「本契約」の停止および終了の権利に加えて、プロバイダーが「第三者アプリケーション」、「第三者サイト」もしくは「コンテンツ」の提供を中止するか、またはこれらを利用可能にする条項を著しく変更したために、お客様がこれらを利用できなくなることによって、著しく、また永続的にお客様が「IBM SaaS」を利用することができなくなることを証明した場合、お客様は、全部であるか一部であるかを問わず、自身の「IBM SaaS」サブスクリプションを終了するお客様の意図を IBM に対し通知することができます。かかる「IBM SaaS」サブスクリプションの終了は、かかる通知から 30 日後に効力を生じるものとします。ただし、かかる第三者サービスが 30 日以内に再開し、利用可能となった場合はこの限りではありません。本セクションに基づく終了の場合、IBM はお客様に対し、終了したサブスクリプションについて有効に終了した日後の残存期間を対象とする受領済み料金を払い戻します。

お客様は、「IBM SaaS」または「第三者サイト」、「第三者アプリケーション」もしくは「コンテンツ」の将来の方向性または計画に関する IBM の報告書に基づいて終了する権利を一切有するものではありません。本契約に定める場合を除き、お客様は、終了する権利を一切有しないものとし、または第三者の製品もしくはサービスを利用できないことによる返金、クレジットまたはその他補償を受ける権利を有するものではありません。

## 6.13 アクセスおよび保管

この「本契約」の終了または満了により、IBM はお客様のクエリー、「コンテンツ」または結果およびお客様が「IBM SaaS」の利用により取得したその他の出力について、キャッシュ格納、保管、またはその他の方法で利用に供する義務を一切負わないものとします。

## 6.14 使用制限

お客様による「IBM SaaS」の利用は制限される場合があります(例えば保管、クエリー数に関する制限またはその他の制限もしくは制約)。追加の使用制限として、お客様は、「IBM SaaS」の可用性、パフォーマンスまたは機能性を監視することを目的として、またはその他ベンチマーキングもしくは競合目的のために「IBM SaaS」にアクセスすることはできません。使用制限は、「ライセンス証書」、「取引文書」、ユーザー向け資料、またはオンライン「IBM SaaS」で文書化されます。「IBM SaaS」は、お客様に使用状況の監視を可能にするオンデマンド情報を提供することができます。お客様が使用制限を超えた場合、IBM は独自の判断により、お客様が使用制限に従えるよう使用状況を削減するためにお客様に協力することができます。お客様が適用される使用制限を超えた場合、IBM は、追加の「IBM SaaS」について「ライセンス証書」または「取引文書」を締結することをお客様に要求し、超過使用分につきお客様に請求することができます。そのような場合、お客様は、要求された追加の「ライセンス証書」または「取引文書」を締結し、また追加請求額を支払うことに同意するものとします。

## 6.15 米国政府による使用の Twitter 条件

アメリカ合衆国のみ適用:「Twitter コンテンツ」は、48 C.F.R. の 2.101 に定義される「商品 (commercial items)」となります。この「商品」は、48 C.F.R. の 12.212 で使用される用語でいうところの「商用コンピューター・ソフトウェア (Commercial Computer Software)」および「商用コンピューター・ソフトウェア文書 (Commercial Computer Software Documentation)」で構成されます。「Twitter コンテンツ」の政府機関による使用、変更、派生、複製、リリース、パフォーマンス、表示、開示または配布は、本「TOU」で明示的に許可されている場合を除き、すべて禁止されています。さらに、米国政府機関による使用は、48 C.F.R. の 12.212 および 48 C.F.R. の 227.7202-1 から 227.7202-4 までを遵守する必要があります。お客様が、米国の州政府または地方自治体の機関の従業員または代理としてのお客様の公的な立場で

「Twitter コンテンツ」を使用する場合で、お客様が本書の裁判管轄、裁判地、またはその他の条項を受諾することができない場合には、かかる条項は当該機関には適用されません。ただし、適用法で要求される範囲に限るものとします。契約者/製造者は Twitter, Inc. (1355 Market Street, Suite 900, San Francisco, California 94103) です。

## 別紙 A

### 1. IBM Social Media Insight for Retail

IBM Social Media Insight for Retail は、小売業者向けにソーシャル・データ・ソースに関する洞察を提供するクラウド・ベースのソリューションです。オファリングの「コンテンツ」について、センチメントおよびトレンドなど、複数のメトリックが提供されます。

### 2. IBM Social Merchandising for Retail-Other Online Data

IBM Social Media Insight for Retail-Other Online Data オファリングは、「Twitter コンテンツ」以外のソーシャル・データをソースとする「文書」にアクセスします。かかるソースの例を挙げると、小売業者自身の Web サイトにおけるレビューなどがあります。

### 3. IBM Social Merchandising for Retail Twitter

IBM Social Media Insight for Retail-Twitter Data オファリングは、「Twitter コンテンツ」をソースとする「文書」にアクセスします。

### 4. IBM Social Merchandising for Retail Set-Up

このセットアップは、ソリューションに必要な属性を付加するために必要な 1 回限りの要件です。

## 別紙 B

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「IBM SaaS」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

### 1. 可用性クレジット

お客様は、「IBM SaaS」の可用性に影響を及ぼした事象について最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録しなければなりません。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的に支援しなければなりません。

「SLA」を達成することができない場合のサポート・チケットの請求は、契約月の末日から 3 営業日以内に提出しなければなりません。有効な「SLA」の請求に対する補償は、「IBM SaaS」の実稼働システム処理が利用できない時間 (以下「ダウンタイム」といいます。) に基づいた「IBM SaaS」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「IBM SaaS」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティに関する事故もしくはお客様によるセキュリティ・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「IBM SaaS」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「IBM SaaS」に対する年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。

### 2. サービス・レベル

「契約月」における「IBM SaaS」の可用性は次のとおりです。

「契約月」における可用性	補償 (「請求」の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」*の割合)
<99.0%	2%
<97.0%	5%
<95%	10%

\*「IBM SaaS」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、「請求」の対象である「契約月」に対して有効な「IBM SaaS」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

例:「契約月」における「ダウンタイム」が合計 500 分である場合

30 日の「契約月」における合計 43,200 分 - 予定外の「ダウンタイム」 500 分 = 42,700 分 <hr/> 合計 43,200 分	= 「契約月」における 98.8% の可用性につき 2% の 「可用性クレジット」
--------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------